

情報科学部 新入生ガイダンス クラスミーティング (教務関連の説明)



説明内容

1. ガイダンス資料等について
2. 教員（チューター等）の紹介
3. 大学生とは
4. 学年暦、学期（ターム）、授業時間
5. 時間割、履修登録、成績
6. 情報科学部のカリキュラム
7. 進級要件と早期卒業について
8. **意欲・長所を伸ばす特別カリキュラム**
9. **目指せ！ひろしま地域リーダー**



1. ガイダンス資料等について

- ガイダンスでは、主に教務関係の重要な部分のみ説明します
- 資料は大学ホームページ右上のメニューより

教育・学生生活 → 履修情報 → 履修登録関係資料

から確認できます。ガイダンス資料以外にも重要な情報が掲載されていますので、必ず確認してください。



2. 教員（チューター等）の紹介

チューターは相談窓口

守秘義務を負っているのでご安心を

- 学業だけでなく、学生生活、プライベートな相談も悩み事があったら気軽に相談しましょう！
- きっと良きアドバイスがもらえます
- 必要に応じて、大学側に掛け合ってもらえます



各クラスのチューター

皆さんの担任のような存在

クラス	チューター1	チューター2
Aクラス	谷川 一哉	井上 伸二
Bクラス	藤原 真	児島 彰
Cクラス	小林 諭	窪田 昌史
Dクラス	岩田 一貴	下川 文明
Eクラス	毛利 考佑	河田 人美
Fクラス	森 康真	白石 允梓
Gクラス	厚海 慶太	小作 敏晴
Hクラス	佐藤 康臣	辻 勝弘
Iクラス	高井 博之	高橋 雄三
Jクラス	林 藍子	齋藤 徹
Kクラス	釘宮 章光	藤原 久志
Lクラス	常盤 達司	伊藤 孝弘

教務委員と学生委員の紹介

教務関係のサポート

クラス	教務委員	学生委員
Aクラス	(小畑 博靖*) 弘中 哲夫 上土井 陽子	舟阪 淳一 小林 諭
Bクラス		
Cクラス		
Dクラス	田村 慶一 下川 丈明	岩田 一貴 関根 光弘
Eクラス		
Fクラス		
Gクラス	(小野 貴彦**) 田中 輝雄 脇田 航	李 仕剛** 桑田 精一
Hクラス		
Iクラス		
Jクラス	鷹野 優 齋藤 徹	式田 光宏* 長谷川 義大
Kクラス		
Lクラス		

学生生活のサポート

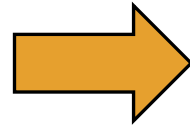
* 委員長

** 副委員長

3. 大学生とは



- 大学では学生を**自立した成人**として扱う！



高校に比べて自由！

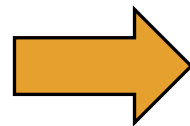
(皆さんの考え・意思が尊重される)

- 自立した成人とはどんな人か？

- **目的意識**を持って行動できる人
- 自分から**能動的**に動ける人
- 自らの**行動に責任**を持てる人

皆さんが「やらない」「怠ける」という考えも尊重
(責任は当然自分で取る)

社会的なペナルティーを
科せられる場合もある



自らを律して行く必要がある！



高校と大学の違いは？



高校

大学

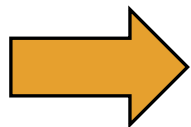
連絡事項は
先生から伝達
(情報が待つ
ていても届く)

ホームルーム
クラス担任

授業は自分の教室
先生が教えに来る

なし(⇒基礎演習)
チューター、各委員
(消極的な接触)
指定された教室へ
先生も指定教室へ
(教室が接点)

連絡事項は
掲示板等で
(自分で見に行
かないと情報が
届かない)



必要な情報は自ら掴みに行く必要がある！

学生案内、学修の手引きとシラバス

- 学生生活に関わることはすべて[学生案内\(Web\)](#)に記載されている
- **困ったこと・疑問・悩み**があったら、学生案内(Web)を確認
 - 答えが見つかる場合が多い
 - 卒業するまで必要なのでブックマークしておくが良い
- 同様に、授業や履修に関わることは[学修の手引き](#)に記載されている
- 講義内容は[Web掲載のシラバス（授業概要）](#)で確認できる

学則や各所への
問合せ先も載っている

学生案内(Web)や学修の手引きは
ウェブ上で24時間いつでも貴方をサポート

4. 学年暦、学期(ターム), 授業時間, 授業の注意

2026年度(2026年4月1日～2027年3月31日)

前期(4/1 - 9/30)				後期(10/1 - 3/31)									
第1ターム(4/8 - 6/9)		第2ターム(6/10 - 8/12)		第3ターム(10/1 - 11/27)		第4ターム(11/28 - 2/5)							
4/2	4/2 - 4/7	4/8	6/3 - 6/9	6/10	7/30 - 8/12	8/13 - 9/30	9月 下旬	10/1	11/23 - 11/27	11/28	12/26 - 1/3	1/27 - 2/5	2/6 - 3/31
入学式	オリエンテーション	前期・第1ターム授業開始	第1ターム試験期間	第2ターム授業開始	前期・第2ターム試験期間	夏季休業	後期ガイダンス	後期・第3ターム授業開始	第3ターム試験期間	第4ターム授業開始	冬季休業	後期・第4ターム試験期間	学年末休業

土日祝日は原則休みだが、授業を行う日もあるので資料等を確認

授業時間

時限	時刻
1時限	9:00 – 10:30
2時限	10:40 – 12:10
お昼休み (昼食)	12:10 – 13:00
3時限	13:00 – 14:30
4時限	14:40 – 16:10
5時限	16:20 – 17:50
6時限	18:00 – 19:30

補講時のみ
(普段はない)

授業:90分

休憩:10分

お昼:50分

学修システム UNIPA での出席確認 (全授業で必須)

各授業の開始時に

大学として**出欠の厳格管理は今や必須**
システムでお互い効率的に行う

- **UNIPA へログイン**
- 出欠確認画面で**出席をクリック**
- 必要に応じて**出席コードを入力**

各授業で教員より提示
(各教員の指示に従うこと)

- スマホでも手軽に出席登録可能
- オンライン授業や実技・実習系でも全授業で
- **代返や学外での不正登録**などは IP アドレスやログ等でわかります
(不正発覚の際は**出席登録取り消し**の上で、悪質な場合は処罰も)

教室にいなければ
すぐにばれます

未登録(欠席)が続く場合「トラブルに巻き込まれた恐れあり」
と保証人へ連絡することもあるので注意 (見守りの観点)

授業中のスマホ**利用禁止**

授業中の
スマホ利用
原則禁止！



出席確認時は例外 (授業で利用する際は各教員の指示に従うこと)

授業風景の撮影&ネットへのアップ^o (公開) は

注意

著作権・肖像権の侵害の恐れあり！

不正行為（カンニング・剽窃）に関する注意

✓ **不正行為**には厳しい処分が下されます

• 試験での**カンニング**

• 成績評価の対象となる**レポート課題等での剽窃**（ひょうせつ）行為

• 剽窃：他人の文章やデータを出典を明記せずに自分のものとして盗用すること

NG例

× Webサイトや書籍の文章をそのままコピー（引用の表記無し）

× 他人の文章の「語尾だけ」を少し書き換えて自分の意見のようにする

× 友人のレポートを丸写しにする（貸した方もペナルティを受ける可能性あり）

処分の内容：

✓ 原則として**その学期に履修した授業科目の全科目を不合格**

半年間、一生懸命取り組んだ他の科目の努力もすべて白紙に

5. 時間割、履修登録、成績

時間割(履修登録)例

時限	時刻	月	火	水	木	金
1限	9:00 - 10:30			講義		
2限	10:40 - 12:10	講義	講義	演習		講義
3限	13:00 - 14:30		講義		実験	
4限	14:40 - 16:10	講義	講義		実験	
5限	16:20 - 17:50				実験	講義

空き時間に事前・事後学修

- 講義科目 1コマあたり **3コマ分時間の事前・事後学修**が必要
- 時間割は自分で組む (科目を選ぶ)
- 科目の詰め込み過ぎに注意!** 予習・復習の時間が取れない
- 半期で**上限24単位まで**履修登録可能 (推奨: **20単位程度**)
- 集中講義**は、一部でも前期・後期期間に実施される科目は上述の**上限計算にカウントされる**ので注意 (休業期間中に実施される科目はカウントされない)

履修登録について

- 履修登録なしで**単位は取れない**（絶対に必要な手続き）
- 時間割表を見ながら自分の時間割表（前期分）を作る
- 「忘れていた・間違えた」では済まされないので注意！**
- Webで期日までに履修登録。** 確認期間に**間違いが無いか必ず確認**

第2ターム分
も忘れずに

4月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
3/29	3/30	3/31	4/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	5/1	5/2

履修登録期間
4/15 17:00 まで

履修確認期間
4/24 17:00 まで

※前期履修登録期間で後期開設科目も登録可能(前期に登録した後期開講科目は後期の履修登録期間で修正可能)

履修登録と取り消しについて

- **必修科目**は必ず履修（自分のクラスの授業を履修登録）
- 選択科目は自由に選べる（お勧めは初回授業に出てから選択）
- ただし**半期に24単位までしか登録できないので注意！**
- **同じ時間の授業は履修できない！**
- 履修登録後は、**履修取消期間でなければ、登録は取り消せない！**
- 取り消さずに放置すると**全体の成績が下がる**

履修取消期間
(第1ターム科目)
4/24 17:00 まで

日	月	火	水	木	金	土
4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
4/26	4/27	4/28	4/29	4/30		
3	4	5	6	7		
10	11	12	13	14		
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

履修取消期間
(前期科目)
5/22 17:00 まで

第2ターム科目の取消期間は
6月24日～26日

成績とGPA (Grade Point Average)

成績評価 (5段階)

評価	評点	Grade Point	合否
秀	90 - 100 点	4	合格
優	80 - 89 点	3	
良	70 - 79 点	2	
可	60 - 69 点	1	
不可	59 点以下	0	不合格

$$\text{GPA} = \frac{(\text{成績評価を受けた科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{成績評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

プログラミング・数学の習熟度別クラス

皆さんの習熟度に応じた最適な教育を提供！

- 習熟度を把握するためのプレースメントテスト（プログラミングと数学）を実施
- テストの得点（習熟度）に応じてクラス分け

＜プレースメントテストの日程・場所・注意事項＞

日時		場所		
		A - D クラス	E - H クラス	I - L クラス
4/3(金)	13:00 - 15:00	702 講義室	704 講義室	講堂小ホール

持ち物:(1)学生証, (2)QRコードを読み取り可能なスマホ、タブレット、PCのいずれか, (3)筆記用具

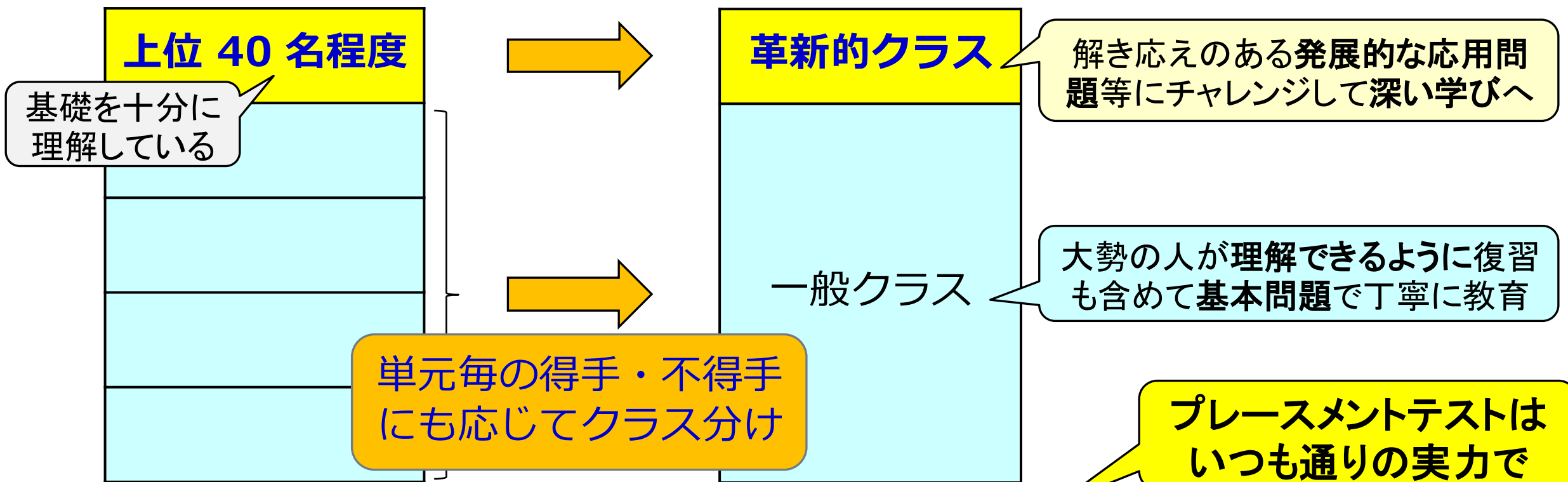
注意事項:参考資料(教科書や資料など)の閲覧はできません

クラス毎に指定された部屋に開始までに集合すること

プログラミングと数学の習熟度別クラス

プレースメントテスト
の成績

プログラミング I、解析学 I、
もしくは、線形代数学 I のクラス

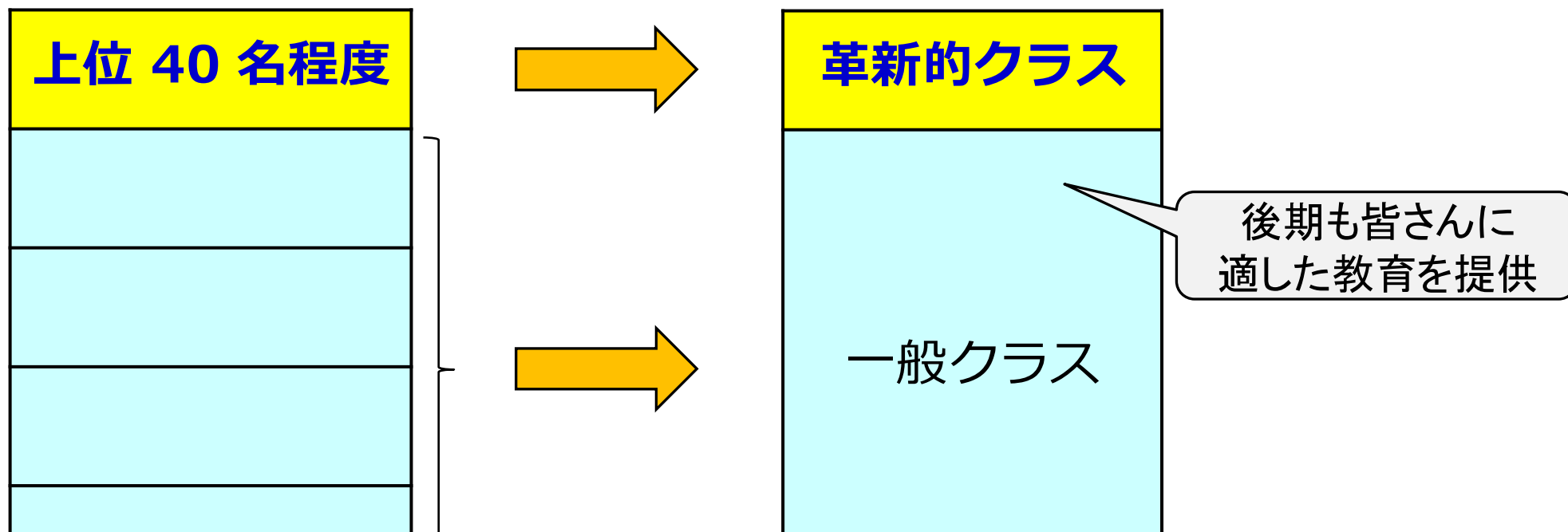


授業の進め方が違うだけで、主な学習内容は同じ・試験も同じ
(革新的クラスだと好成績が取りにくいことはない)

プログラミング II と線形代数学 II の習熟度別クラス

1 年前期
プログラミング I もしくは
線形代数学 I の成績

1 年後期
プログラミング II もしくは
線形代数学 II のクラス



入学後も革新的クラスを目指して、**どんどん成長しましょう！**
大学は自分で上を目指して勉強するところ（それを支援するのが教育）です

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を確認しよう！

4年間の学びを通じて、身に付けておくべき
能力をまとめたもの
(卒業時の目標)

自分の強みや弱みと見比べ、目標に向け、
高めるべき能力を意識しながら科目を履修
しよう！



就職活動での
アピールポイントになる

学修の手引きに記載

人材育成の目標及び各ポリシー

学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊重し、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

広島市立大学は、所定の期間に在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

- ① 多様な文化・価値観を尊重するための、人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を有している(知識・技能)
- ② 専門領域に関する体系的な知識・技能を身につけている(知識・技能)
- ③ 発見した問題について論理的に考え、判断することができる(思考力・判断力)
- ④ 自らの考えをわかりやすく表現する能力を身につけている(表現力)
- ⑤ 社会的課題の解決には社会との関わりの中での創作活動に向けて主体的に取り組む姿勢を有している(主体性)
- ⑥ 他者と協働して取り組む姿勢を有している(協働性)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

広島市立大学の学士課程における学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を達成するため、教育課程を次のように編成する。

1. 人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を得るため、全学共通科目を開設する。
2. 多様な文化・価値観に対する理解を深めるのに必要となる外国語によるコミュニケーション能力を養成するため、外国語科目を開設する。
3. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設する。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化する中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

国際学部は、所定の期間に在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士(国際学)」の学位を授与する。

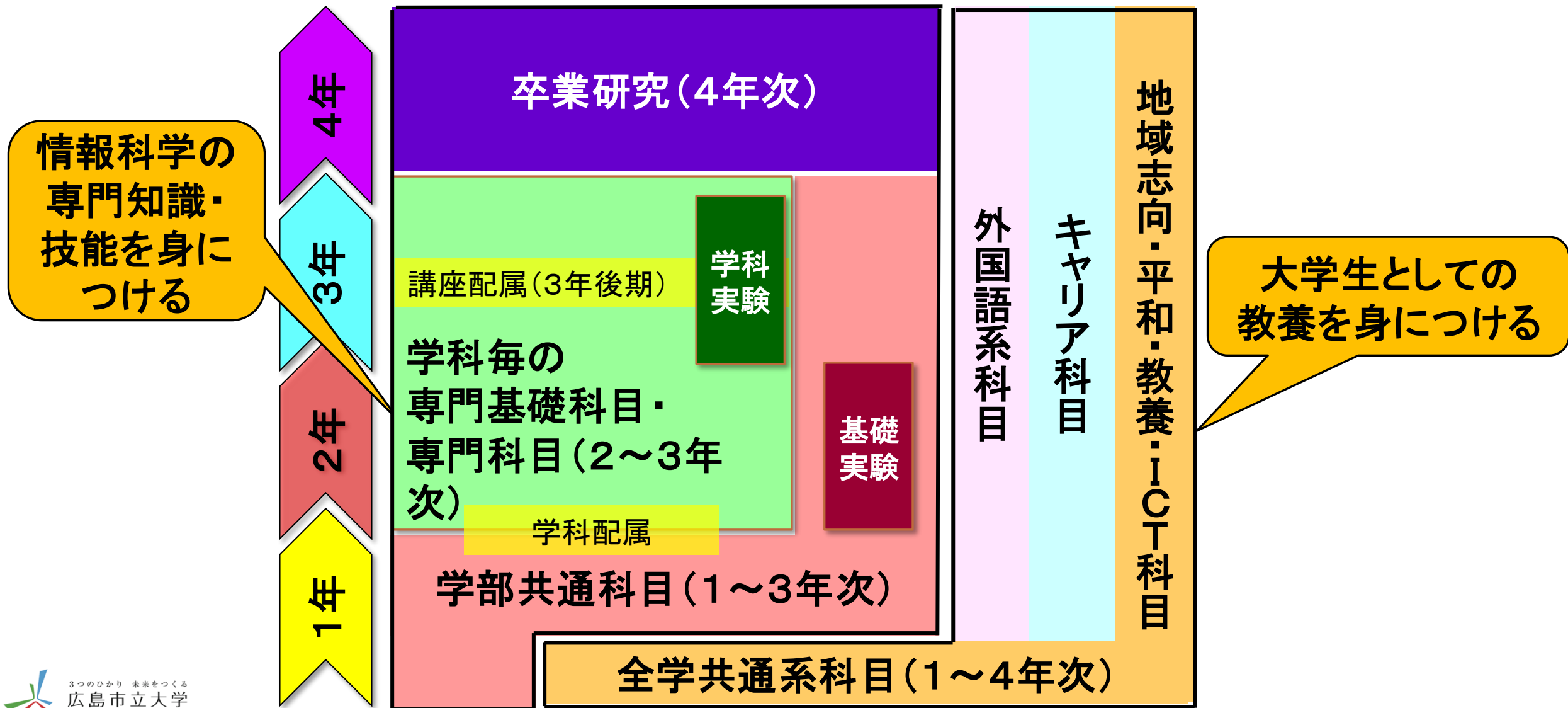
[知識・技能]

1. 人文・社会科学の知見や理論についての体系的な知識を身に付けている。(知識)
2. 人文・社会科学の分野をまたいで学際的に探求する技能を身に付けている。(技能)

[思考力・判断力・表現力]

1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知識や理論を基に社会的諸問題を探求することができる。(思考力)
2. 根拠に基づいて論理的に考え判断することができる。(判断力)
3. 自らの考えを説理的に分りやすく表現する能力を身に付けている。(表現力)

6. 情報科学部のカリキュラム（概略図）



卒業要件

科目区分		必要単位数
全学共通系科目	地域志向科目	2 単位以上
	平和科目	2 単位以上
	教養科目	6 単位以上
	キャリア科目	2 単位以上
	ICT科目	4 単位
	小計	16 単位以上
外国語系科目		6 単位以上
全学共通 + 外国語系科目合計		28 単位

全学共通科目と外国語系科目の区分にある選択科目の中から6単位分を追加して合計で28単位にする

全学共通系科目と外国語系科目における必須科目：

教養科目：「3 学部合同基礎演習」

ICT科目：「情報活用基礎」「データサイエンス」

外国語系科目：「英語総合演習 I / II / III / IV」「英語応用演習 I / II」

科目区分		必要単位数
専門教育科目	学部共通科目	96 単位
	専門基礎科目	
	専門科目	

- ・ 講義：90分 × 15回で2単位
- ・ 演習・実習：90分 × 15回で1単位

- ・ **必修科目**：卒業に必要な科目
- ・ **選択科目**：卒業単位に加算され選べる
- ・ **自由科目**：卒業単位に加算されない

卒業必要単位数：124 単位

教養科目の授業(分野毎)

※3学部合同基礎演習を除きすべて「選択科目」

情報科学部ディプロマ・ポリシー(一部抜粋)

[知識・技能]

1. 多様な文化・価値観を尊ぶための人間、社会、自然に関する幅広い知識を身に付けている。

人間と社会

- 哲学
- 世界の宗教
- 心理学
- 歴史学
- 現代史
- 法学(日本国憲法)※
- 政治学
- 経済学
- 社会学
- 文化人類学
- 自然人類学
- 経営学

保険体育

- 健康科学
- 心の健康・身体 の健康
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ

※教職免許取得には「法学」と保険体育科目から2単位が必要
教職免許(情報)では「情報社会論」が必要

必須科目

- 3学部合同基礎演習

- 物理学概論
- 化学概論
- 生物学概論
- 地球環境論
- 情報社会論※

- デッサン概論
- 油絵入門
- 日本画入門
- コンピュータとアート
- 立体造形概論
- デザイン工芸概論
- 創作と人間

数理と自然

選択は自由ですが、ディプロマ・ポリシーを意識した履修を！

芸術

キャリア形成に関連する科目

最初にキャリアデザイン i の履修がおススメ

1年次

2年次

3年次

4年次

全学共通系科目
(キャリア科目)

キャリアデザイン
i (1T)・ii (4T)

仕事体験演習
(2T・3T)

キャリアサポートベーシック
A(前期)・B(後期)

自己理解やキャリア意識を醸成する

✓ 卒業までにキャリア科目から2単位以上の修得が必要

学部専門教育科目

情報と職業(3T)※

技術者倫理(前期)※

知的財産権(前期集中)

専門職としての
基盤や倫理観を学ぶ

実践的ICT活用事例
(4T)

課題解決型演習
(通年)

システム開発実践
(通年)

地域や企業における情報
技術の活用を実践的に学び
将来像を明確化

※「情報と職業」「知的財産権」は教職(情報)で必須

外国語系科目について

- **英語**および**第二外国語**（日本語・英語以外）
 - 卒業までに**あわせて6単位以上**必要
 - 英語：「英語総合演習 I, II, III, IV」（**必修4単位**）
「英語応用演習 I, II」（**必修2単位**）

英語科目：「英語応用演習 I」「英語総合演習 I」は**既に履修登録済み**
→ いちぽる（UNIPA）の「履修登録」画面から担当教員名、講義室を確認し、指定された教科書を購入の上、初回授業に出席

第二外国語：初回授業として**全体ガイダンスへの出席**が必要（対象者は**興味のある人・履修を迷っている人**）
→ 全体ガイダンス：4/9(木) 9:00 - 10:30【講堂 大ホール】

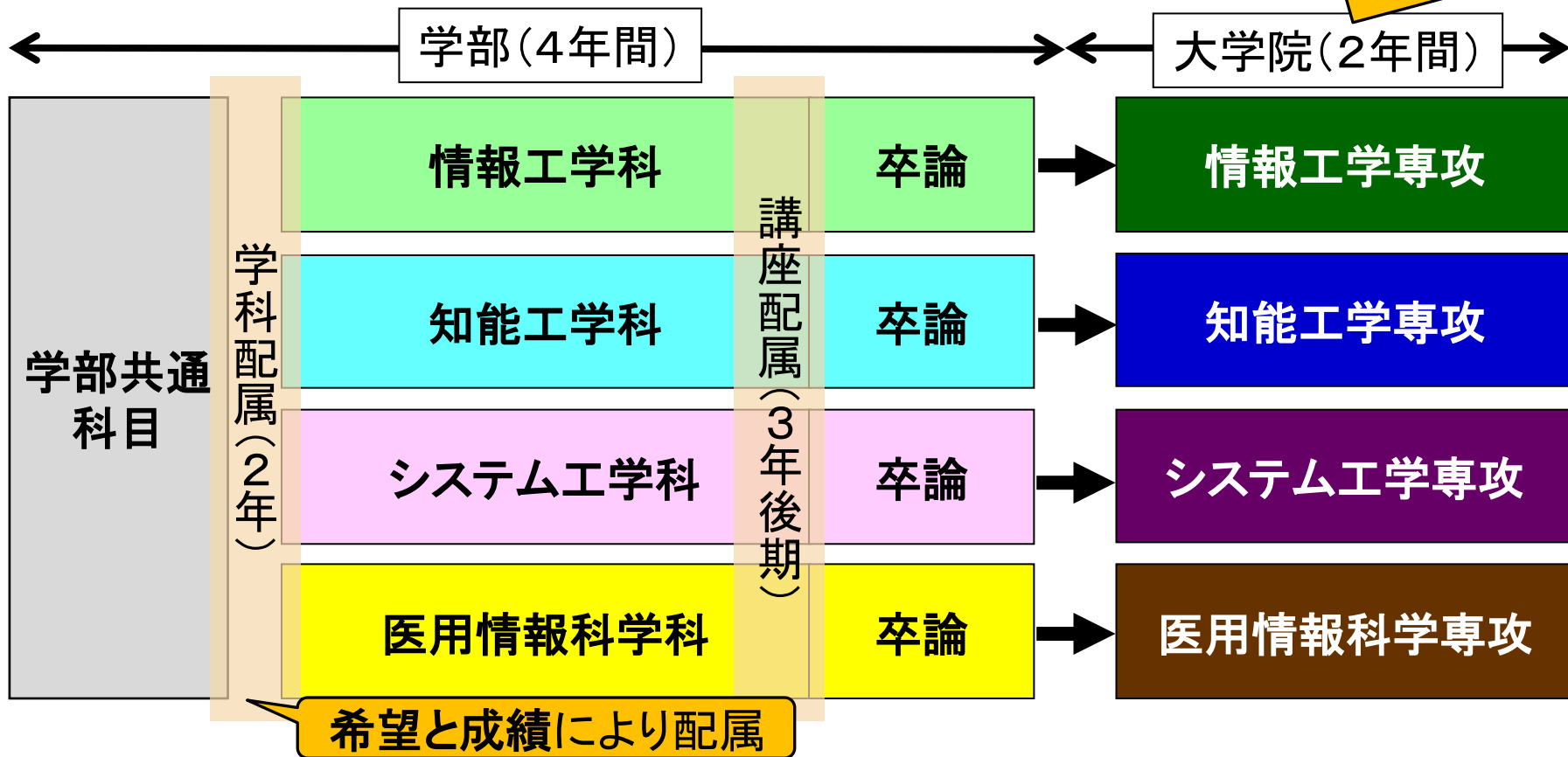
注意：外国語系科目に加え、**短期語学留学**なども用意されている
留学の受付時期などの詳細は**掲示板等で案内**されるので注意

体育実技 I の授業ガイダンスについて

- 日時：4月14日(火) 2限
- 場所：体育館アリーナ
- 対象：履修希望者（迷っている人も）
- 内容：ガイダンスと種目分け希望調査の実施
- 注意：自身で「いちぽる（UNIPA）」から履修登録
体育実技 I は選択科目（教養科目）です

専門教育と学科配属

大学院で、**技術者・研究者**に求められる知識・技能を更に深く学ぶ(6年間教育)



情報科学の専門科目だけでなく、**専門英語**も学ぶ

専門英語科目(必修)

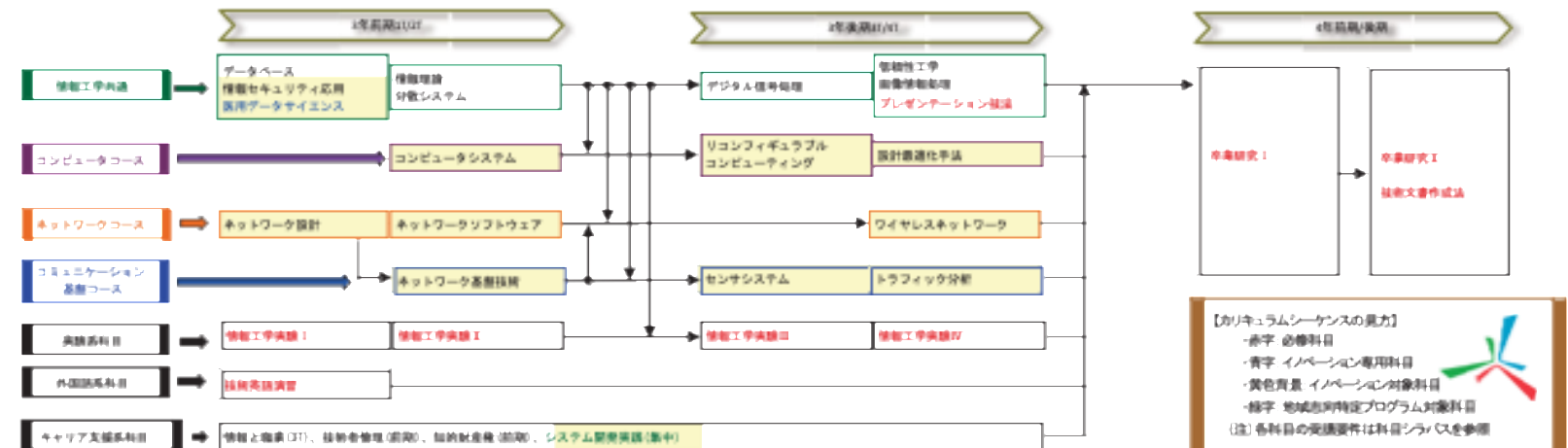
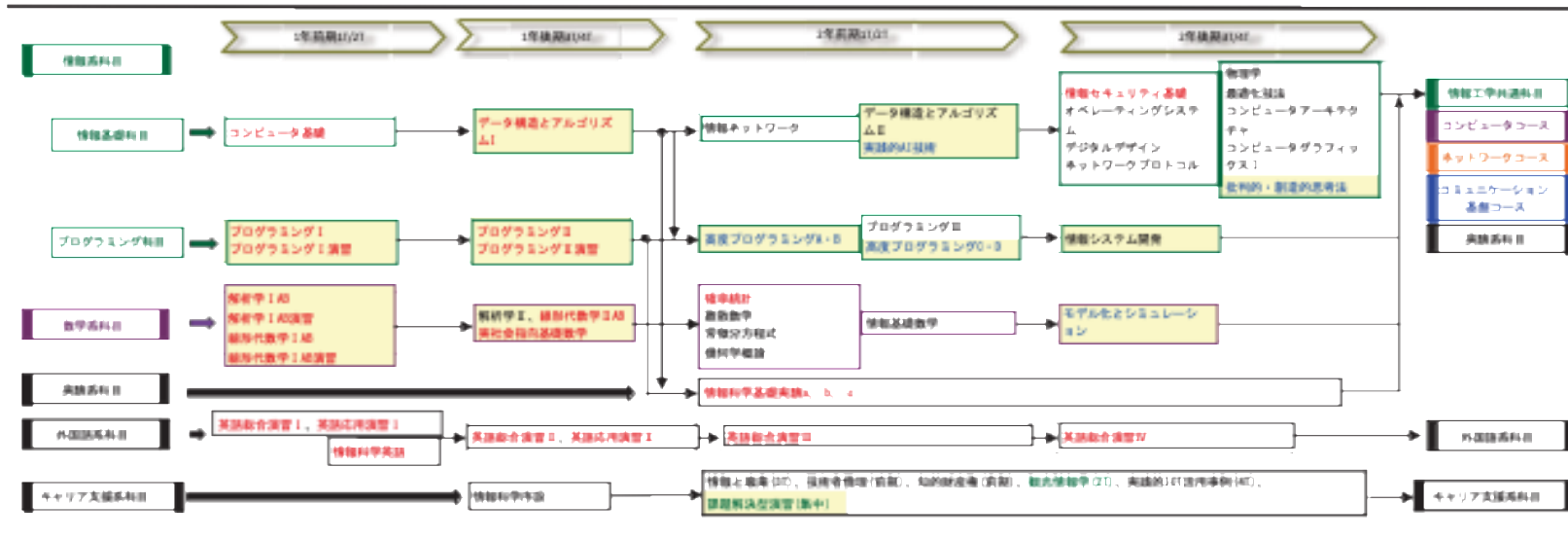
- 学部専門英語科目
- 各学科専門英語科目

- 情報工学科：コンピュータやネットワークなどの情報基盤技術に関する分野
- 知能工学科：人工知能を支える数理、知識情報処理、ソフトウェア技術に関する分野
- システム工学科：情報システム全体の調和と協調を図った創造的なシステム化技術に関する分野
- 医用情報科学科：情報科学・自然科学・工学を基に、医用、生命、環境などへの活用技術に関する融合分野

専門教育科目はカリキュラムシーケンスを参考に

学科ごとに用意されているカリキュラムシーケンスを参考に計画的な学習を

情報工学科カリキュラムシーケンス



【カリキュラムシーケンスの奥力】

- 赤字 必修科目
- 青字 インターンシップ専用科目
- 黄色背景 インターンシップ対象科目
- 緑字 地域志向特定プログラム対象科目

(注) 各科目の受講要件は科目シラバスを参照

他学部・他学科授業科目の履修について

- **授業担当教員**および**教務委員会**の承認が必要
 - Web上で自学部・自学科科目と同じ様に登録可能
 - 他学部・他学科科目は**あわせて10単位まで**は卒業単位に加算可能
 - 他学部科目は**総合共通科目**として
他学科履修は**専門教育科目**として加算可能
- 闇雲な他学部・他学科履修は計画的な学びを崩す恐れがあるので注意

産学連携教育科目や単位互換について

- **企業と連携した実践的教育**で意欲向上と将来像の明確化
 - 実践的ICT活用事例（2年次）：ICTが社会でどう活用されているかを**知る**科目
 - 課題解決型演習（2年次）：地域・企業課題の解決法を検討し学びを**深める**科目
 - システム開発実践（3年次）：学んだ知識・技能を現場で**実践する**科目
 - 詳細は2年次に改めて説明
- **他大学の科目**を本学の単位として認定可能（**単位互換制度**）
 - 教育ネットワーク中国に所属する大学が提供する科目
 - 広島・地域志向科目として認定
 - 詳しくは事務局 教務グループ担当まで

注意：受け付け時期などの詳細は掲示板等で案内されるので注意

教職免許状関連の科目について

- 取得可能な教員職員免許状の種類

- 高等学校教諭一種免許状（**情報**）
- 高等学校教諭一種免許状（**数学***）
* 医用情報科学科では数学は取得できない

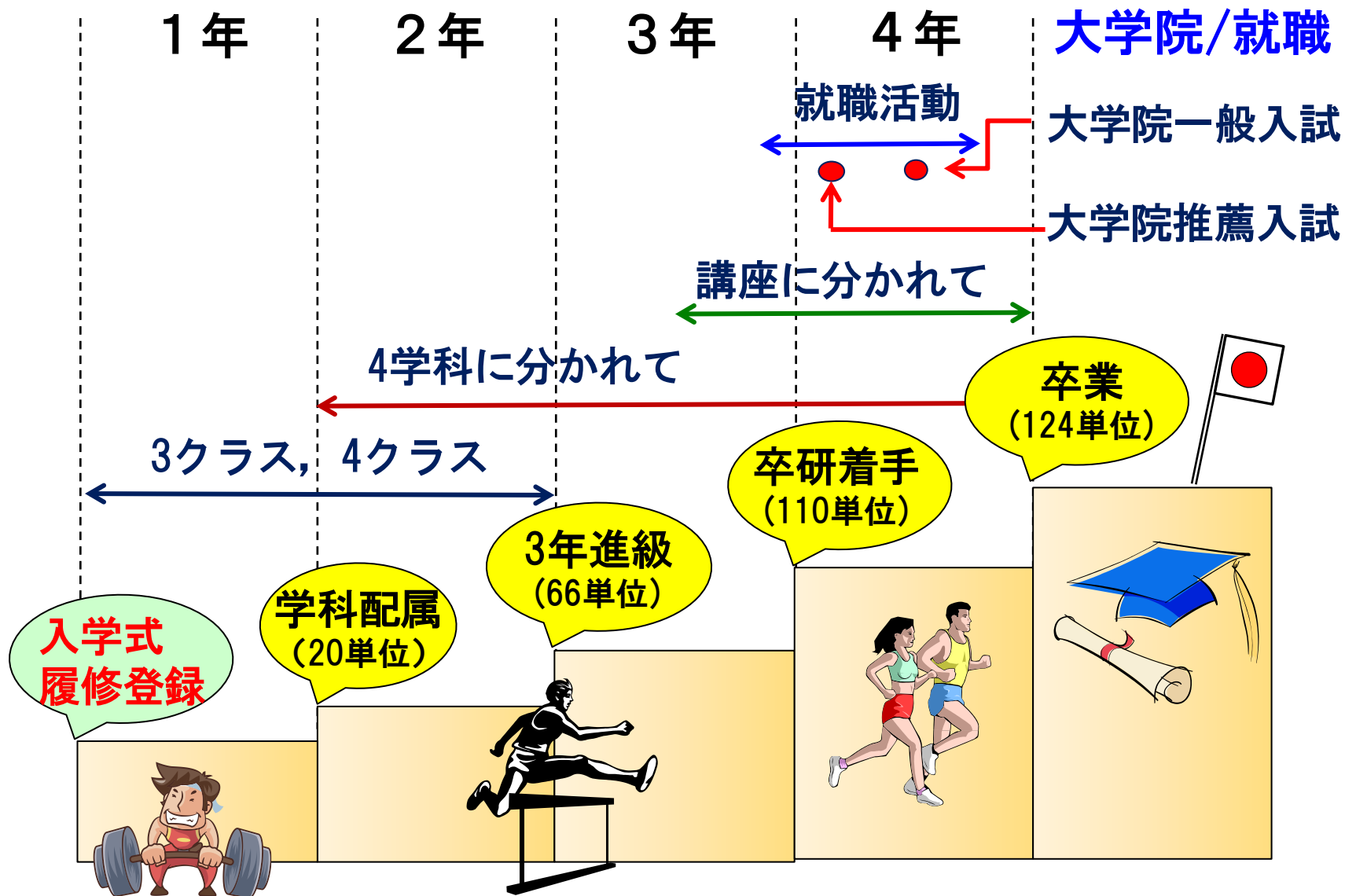


- 取得するには？

- **指定された専門教育科目**の履修（教科の専門知識）
- **教職課程用科目***の履修（教育の基礎的な知識など）
* 卒業要件の単位数に含まれない（**自由科目**扱い）

注意：履修登録の際に教職課程登録届けの提出が必要！

7. 進級要件と早期卒業について



進級・卒業要件の確認

- 2年次進級要件（1年 → 2年）
- 単位数：**20単位**以上（40単位が目安）

- 3年次進級要件（2年 → 3年）
- 単位数：**66単位**以上（80単位が目安）

- 情報科学基礎実験、プログラミング I・II 演習、**英語総合演習 I・II**の単位修得

44単位が必要（上限：48単位/年）

- 4年次進級要件（3年 → 4年）
- 単位数：**110単位**以上

- すべての必修の実験・演習科目および**英語総合演習 III・IV**の単位修得

- 卒業要件

- 単位数：**124単位**（全学共通系＋外）
- すべての必修科目の単位修得
- 卒業論文の執筆、卒業研究の発表

46単位が必要
（上限：48単位/年）

2年次末でTOEIC 250点
以上を目指しましょう

3年次末でTOEIC 350点
以上を目指しましょう

TOEICは**大学院入試**や**就職**でも重要
（英語総合演習 I / II / III / IV の中でTOEICを受験します）
目標未達成 → 「英語サポート教室」の受講をお勧めします



成績優秀者への優遇措置

- **学科配属・講座配属で有利**

- **特待生制度**

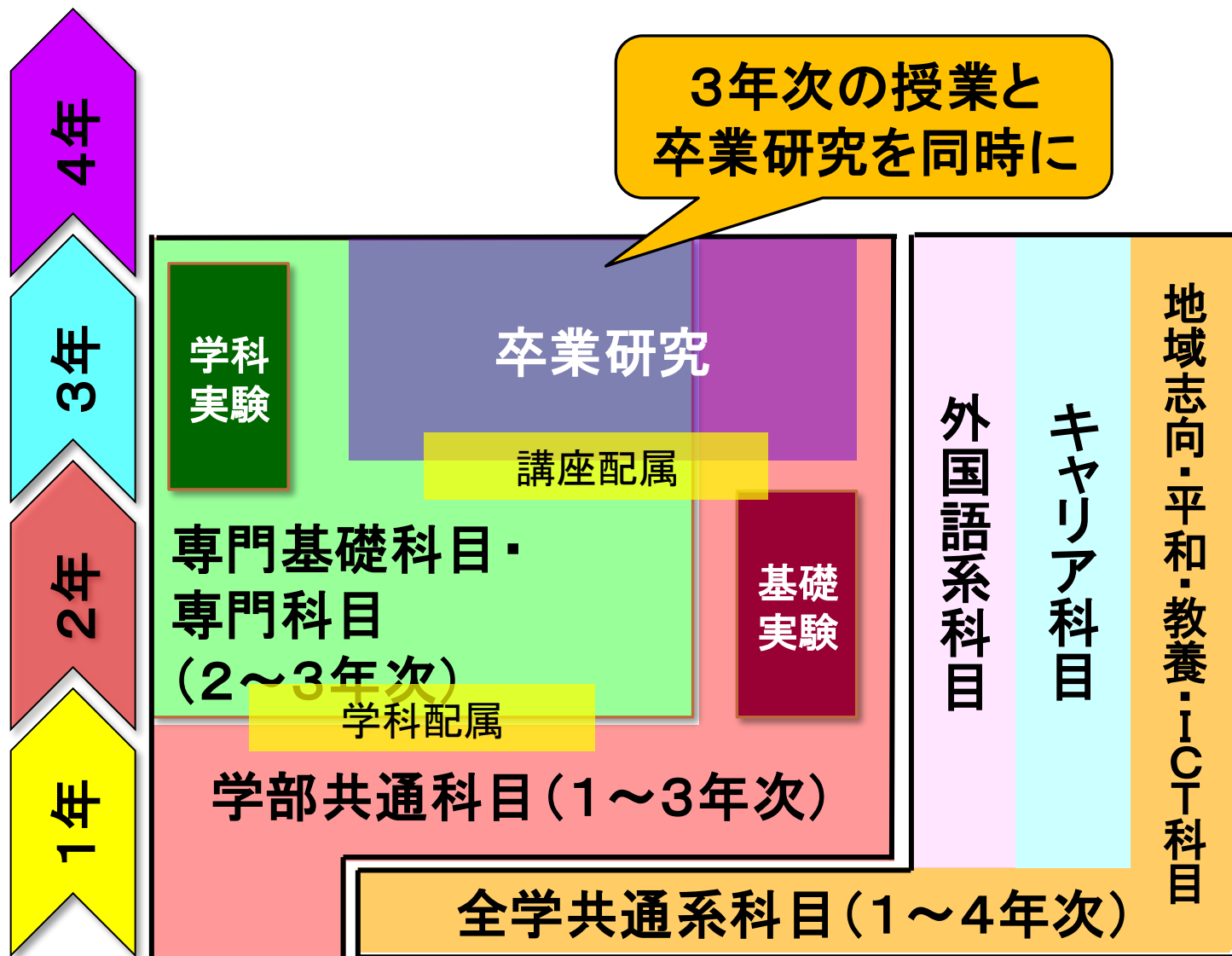
- 2～4年次 5名程度
- 副賞として奨学金

- **早期卒業**

- 3年または3年半で卒業

- **大学院への推薦**

- 成績優秀（学科ごとに基準）
- TOEIC400点以上
- 面接のみで大学院へ進学



8. 意欲・長所を伸ばす特別カリキュラム

イノベーション人材育成プログラム

2021年度より
スタート

通常の科目に加え、**発展的な内容**を扱う科目で**得意分野を伸ばす教育プログラム**

プログラミングが得意なら・・・

革新的 ICT 実践特別コース

で学び、「ものづくり」を極めた
スーパーシステムエンジニアへ！

数学が得意なら・・・

革新的情報科学特別コース

で学び、科学的探究力をもつ
ICT 技術者へ！

**「得意なことをもっと学びたい」とい
う気持ちを後押しするプログラム！**

イノベーション人材育成プログラムの特徴

1. **実践的な応用問題・演習**にチャレンジできる
2. **実践的な専門教育・研究**に**早く**チャレンジできる
3. **優先的な学科・講座配属**
4. **大学院への早期進学**にもチャレンジできる

大学での教育
(3年間)

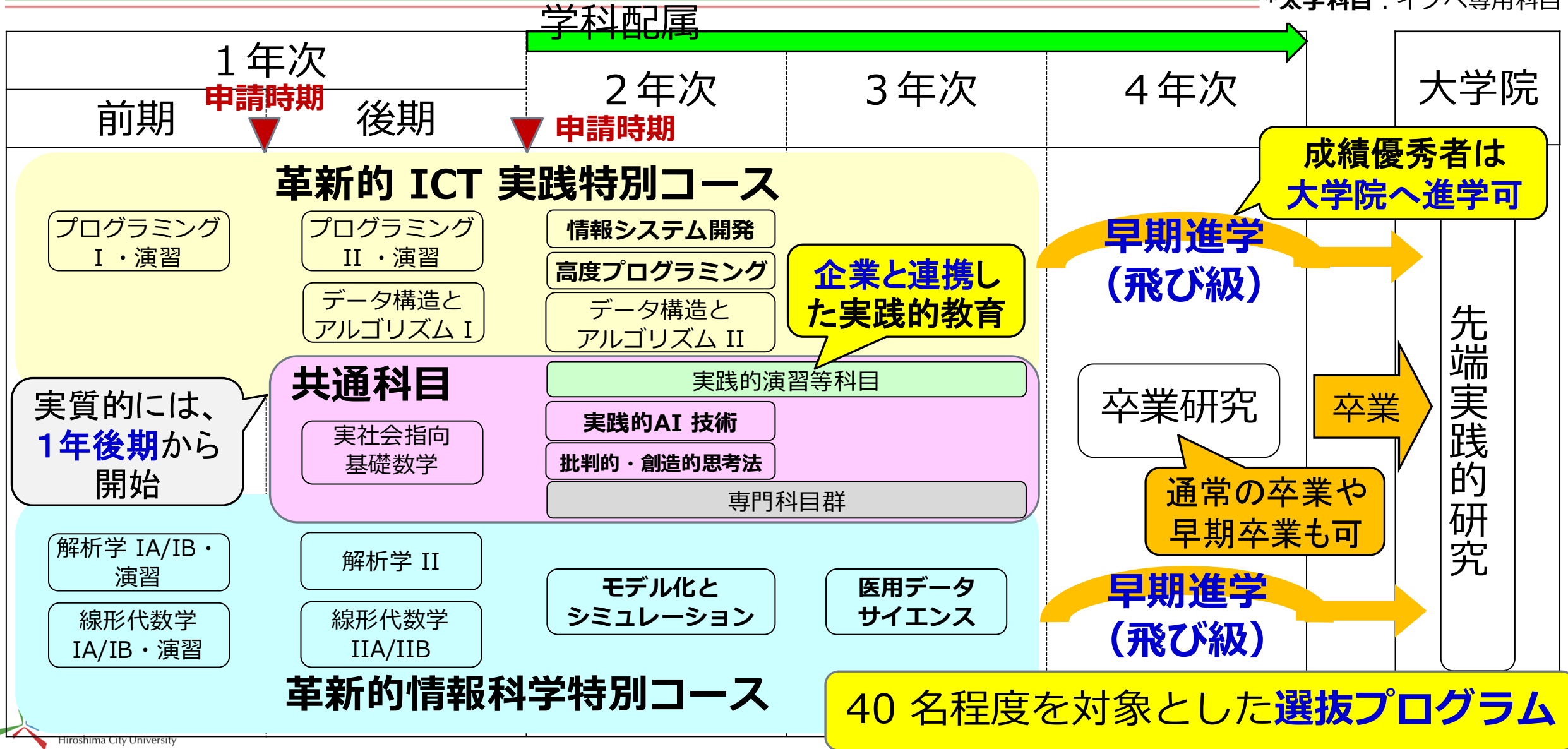
大学院での研究
(2年間)

通常6年を**最短5年**で大学院修了

素早くお得に深く学んで、
トップエンジニア・研究者へ！

イノベーション人材育成プログラム(概略図)

*太字科目：イノベ専用科目



イノベの専門科目群と実践的演習等科目

専門科目群(学科毎に整備)

情報工学	知能工学	システム	医用情報
情報セキュリティ応用	グラフ理論	確率過程論	バイオインフォマティクス 1, 2
コンピュータシステム	人工知能	数値計算法	量子力学、統計力学
リコンフィギャラブル コンピューティング	感性情報処理	メカトロニクス	医用データサイエンス
設計最適化手法	機械学習	画像情報処理	デジタル信号処理
ネットワーク設計	データマイニング	制御工学1	制御工学
ネットワークソフトウェア	情報検索	ロボティクス1	電気電子計測
ワイヤレスネットワーク	画像情報処理	デジタル無線通信	生体情報工学
ネットワーク基盤技術	自然言語処理	オペレーティング システム	医用情報システム開発
センサシステム	情報理論	パターン認識	医用情報通信工学
トラフィック分析	パターン認識	ヒューマン インタフェース1	医科学概論1, 2

実践的演習等科目

- 課題解決型演習 (2年)
- システム開発実践 (3年)

企業等から提示された課題に
チャレンジする実践的演習

2つのうちどちらかが必要

- 3年次科目が多い
- 科目シーケンスを参照の上、
基礎の科目を計画的に履修

イノベーション人材育成プログラム修了認定条件

1. **プログラム参加の申請**（**1年後期**または**2年前期**の履修登録時）
2. **共通科目群**の全科目（**6単位**）を修得
3. **数学系科目群**から**14単位** または
プログラミング系科目群から**14単位以上** を修得
4. 自学科の**専門科目群**の中から**6単位以上**を修得
5. **実践的演習**等の科目**1単位**を修得

合計**27単位以上**
で修了可能

- 通常の科目との重複も多いので、**少しの追加科目の修得で修了可能**
- 意欲があれば誰でもチャレンジ可能（**得意分野の成績が大事**）
- プログラムはいつでも止められる（**チャレンジして失うものは何もない**）

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(1)

早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するためには、出願前に事前審査を受けなければなりません。以下をすべて満たす人にその資格があります。

- ① 2年次までに**全学共通系科目の各区分および外国語系科目**について卒業要件を満たす単位数を修得していること
- ② 2年次までに開講された**学部の専門教育科目の必修科目**の単位をすべて修得していること
- ③ 3年次までに**修得見込みの単位数**が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること
- ④ **イノベーション人材育成プログラム**で優秀な成績を収めていること
- ⑤ 人物面で優れ、志望する専攻に対する**熱意と適正**を有すると認められること

次ページで
補足

※ これは大学院入試の募集要項に記載される内容です。年度により内容が一部変更になる可能性もありますので、受験年度の募集要項をよく確認してください。

イノベの制度を利用して早期進学(飛び級)で大学院入試を受験するには(2)

前ページ④「イノベで優秀」は、以下をすべて満たす見込みがあるかどうかで評価されます

- a. **大学入学後**(休学期間を除き)**3年間**でイノベ修了見込みであること
- b. イノベ科目(共通科目群, 数学系科目群かプログラム系科目群のどちらか一方, 専門科目群, 実践的演習等科目)のうちで**5科目以上で「秀」**の成績を修めていること
- c. **必修の実験をすべて「優」以上**の成績で修めていること

- 大学院へは推薦入試で (**奨学金の対象**)
- 卒業はしないが**学位の取得は可能** (卒業と同等)

詳しく知りたい人は教務委員に問い合わせてください

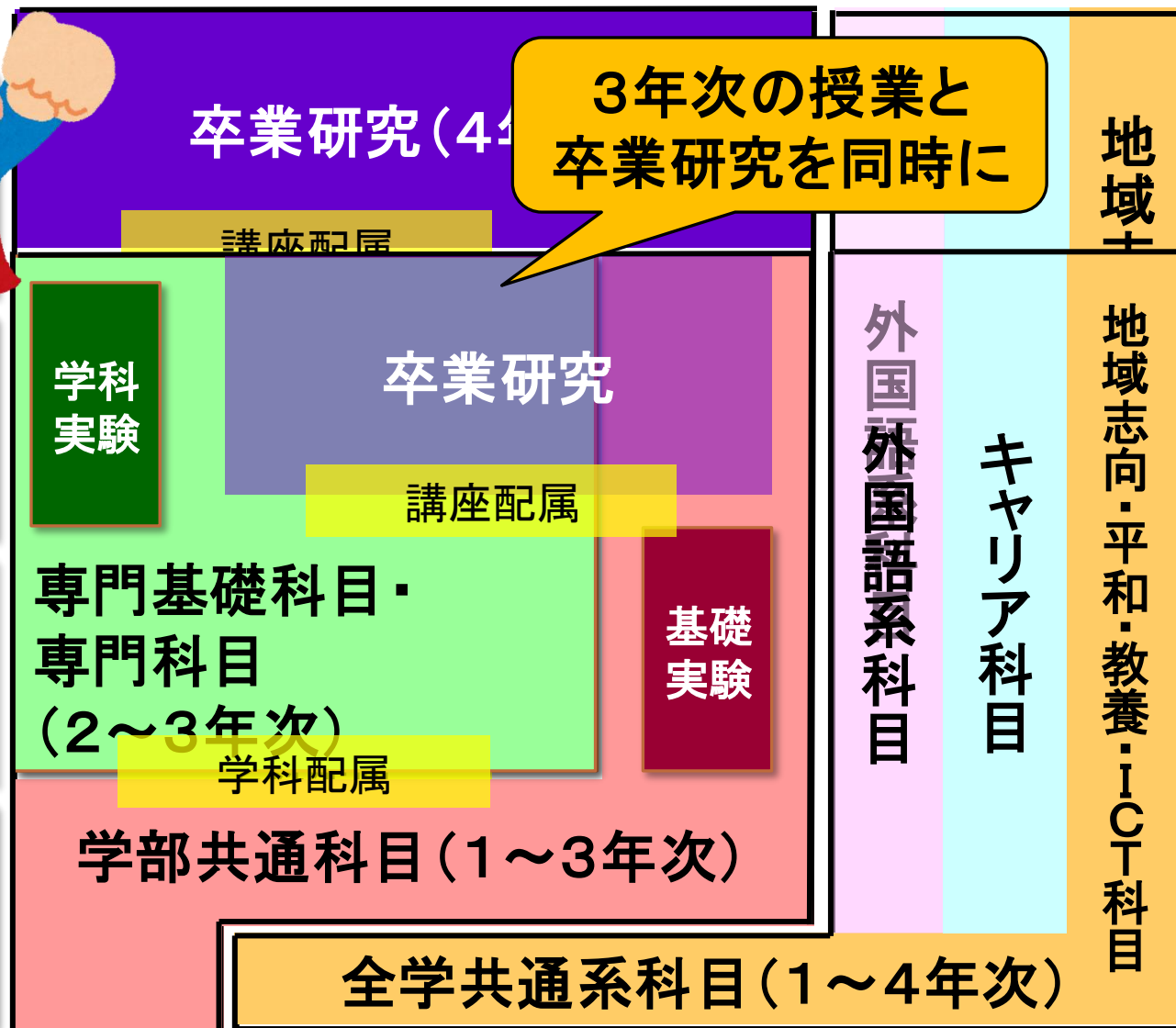
早期卒業制度との違い

● 早期卒業

- 3年または3年半で卒業
- 卒業に必要な全科目を履修
- 全科目で好成績

● 大学院への飛び級

- 3年で大学院へ進学
- イノベプログラムを履修
- 得意分野で好成績



数理・データサイエンス・AIに関する教育プログラム

✓ **基礎**と**応用**の2つのプログラム

基礎：データサイエンス・リテラシープログラム【全学部共通】

数理・データサイエンス・AIの**基礎知識**と**活用力**を身につける教育プログラム

応用：数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム【情報科学部】

自らの専門分野で数理・データサイエンス・AIについての基礎知識を活用し、**課題解決に応用する力**を身につける教育プログラム

各プログラムの要件を満たす単位を修得し希望すれば「**修了証**」が交付される

※要件は学習の手引き、配布資料を参照してください

応用プログラムを目指して
ぜひ就活等で活用を！

9. 目指せ！ひろしま地域リーダー

地域志向特定プログラム

地域に愛着・誇りを持ち、地域の発展に貢献する人材を育成する**教育プログラム**

地域志向特定プログラム修了 + 地域貢献テーマでの卒業研究

||

ひろしま地域リーダーの称号！

イノベーション人材育成プログラムへの
のちよい足しで同時に取れちゃう？

地域志向特定プログラム修了認定条件

次のAからCを含めて **8 単位以上取得** すること

A) **広島・地域志向科目群**から4単位以上

うち2単位は卒業要件

B) 「**地域課題演習**」または「課題解決型演習」から1単位以上

C) 「**観光情報学**」から「システム開発実践」から2単位以上

下線の2科目はイノベの(選択)必修

イノベ受講者であれば、

- ・ **広島・地域志向科目群**から1科目
 - ・ 「**地域課題演習**」または「**観光情報学**」の1科目
- の合計2科目の追加で**地域志向特定プログラム**を修了可！

地元企業と卒業研究で地域リーダーの称号！

最後に

- 大学入学がゴールではありません
 - 卒業・就職もゴールではありません
 - 大学は**社会での活躍に向けた訓練**をするところです
- 社会でも活躍する人財になれるよう、**丁寧に教育**します
 - 単に知識・技能を覚えるだけでは、継続的な活躍は困難です
 - 丁寧な教育を念頭に、過度な詰め込み教育は避けたいと思います
 - 自分で学習を継続できるよう**「学び方」を修得**してもらえればと思います
- 我々教員は、皆さんの主体的な学びを応援します

大学を遊んで過ごせる時代は終わりました

ご清聴
ありがとうございました



不明な点や詳細に関する質問は教務委員へ
kyomu-info2026@m.hiroshima-cu.ac.jp